

第12回赤穂海浜公園管理運営協議会 議事録

日時：令和7年6月2日（月）15：00～17：00

場所：赤穂海浜公園オートキャンプ場会議室

出席者：別添出席者名簿参照

配付資料：資料1 令和6年度報告と令和7年度計画について

資料2 うみの会議開催報告

資料3 指定管理体制と活性化事業について

資料4 伐採検討樹木位置図（活性化）

資料5 伐採検討樹木位置図（公園）

資料6 R7年工事予定について

資料7 猛暑対策及び休憩施設について

参考資料1 赤穂海浜公園管理運営協議会要綱（R6. 4. 1）

参考資料2 第11回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録

1. 開会

赤穂海浜公園管理事務所 金澤所長挨拶

・省略

赤澤会長挨拶

・省略

2. 赤穂海浜公園管理運営協議会について

(1) 管理運営協議会要綱の変更（参考資料1）

(2) 第11回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録の公表（参考資料2）

3. 議事

(1) 令和6年度報告と令和7年度計画について

・資料1に沿って令和6年度報告、令和7年度計画について説明

委員

カヤック体験は公園内だけではなく、海に近い公園の立地を活かして、安全に気をつけて海上での体験をされてはどうか。

事務局

NPO法人赤穂里うみカヤックスの主催で4/19・20の2日間に「さとうみアースディ」と称して唐船海岸の清掃、キッチンカーや物販の販売、海上でのカヤック体験を実施した。今後は6～9月にペアカヤック体験（4回）を公園内のイベントとして赤湖・白湖で行う予定で、そこで操作に慣れていただいた方に、いずれは唐船海岸でも体験してもらいたいと考えている。今後も里うみカヤックスと連携して実施していきたいと考えている。

会長

今までは公園内での開催に留まっていたが、今後は公園の周辺も使用して実施できると良い。

委員

地元尾崎地区限定30人で塩づくり体験を実施した。何種類かの塩（真塩・差塩）5種類を準備して味比べをしたことも良かった。好評につき今後は尾崎地区だけでなく地域を広げて募集したい。今後は公園側も協力して欲しい。

事務局

毎月1回開催している公園活性化委員会では、海洋科学館の館長とも情報を共有している。今後は赤穂市とも協力しながら他の地域の方々にも参加を呼びかけていく。

会長

それぞれ協力し合って出来ることから実施することも大事。実施できるかどうかを考えて焦らずやって欲しい。

会長

団体の利用はあるか。

事務局

赤穂市以外の県内小学校、岡山の小学校からも来ている。

委員

来られた団体は楽しまれている。もっと広げていければ良い。

事務局

先日赤穂高校定時制の生徒がイベント「そるとふえすていばる」を開催した。定時制の高校生20人以上が運営に携わり、100名以上の参加者がスーパーボールすくいやヨーヨー釣り、ソルトアートのワークショップ等を楽しんだ。

委員

今後は赤穂市も連携してやっていきたい。

(2) 令和7年度～指定管理体制と実施事業について

・資料2に沿って各構成員より説明

会長

次の協議会には色々と出来ているようなスピードでワクワク感がある。やる前から考えることもあるが、やってから一緒に考えられることも良い。

委員

地元尾崎や御崎の意見として、車で来ても550円払わなければならない、自転車で来ても園内には進入不可なので門の近くに(唐船近く)自転車置き場を作って欲しい。海岸近くまで自転車で入りたい。

会長

公園に近い方に多く来ていただくことも大事。地元だけの要望ではなくいろんな地域の人の意見も大事。

委員

小さい子ども連れは荷物が多いので、わんぱく広場付近(公園の外)に勝手に自転車を仮置きしている。

事務局

公園内は指定管理者の管理だが、海岸沿いの通路は、港湾管理者の管理である。

会長

ユニバーサルデザインで遊具を作っても駐車場から遠くては不便な場合もある。利便性を高めてほしい。公園は17時までの利用なのか。

事務局

昨年度から特定都市公園でなくなり条例・規則上は24時間オープンな公園となっており、海側の門は一部開放している。今後は夜間の営業についても柔軟に検討していく。現状は照明など夜間利用に対応できていない。様々な事態への対応が今後の検討課題となっている。自由な出入りを考えると、科学館・塩の国等燃えやすい物件もあるため、防火対策などの検討も必要である。

会長

実験的に夜の営業を行っていき、SNS等で発信することも大事。

委員

自然環境が良くなれば、今後は自然体系を活用する取り組みとして水生植物、海浜植物の事も考えているのか。

事務局

かつては澤田先生に来ていただいて塩性植物の保全を積極的に行っていた時期もあったが、今は来ていただくのは難しい状況である。

会長

今後は宿泊や、体験できる付加価値として新しい活用もできるようにして欲しい。

事務局

赤湖・白湖で赤穂里うみカヤックスと一緒にアマモの繁殖に取り組んでいる。赤湖・白湖にはチヌやボラが生息しており、アマモに卵を産みつけたり稚魚の隠れ家になったりするため、昨年の「うみの会議」で泥団子にアマモの種を10個ほど入れ、公園内の赤湖・白湖に投げ入れたが、根付いていなかった。今後は澤田先生とも一緒に取り組みをやっていかれたらと思っている。

(3) 伐採検討樹木について

- ・資料3に沿って事務局より説明

会長

危険木については事後報告で良いので早急に対応をしてほしい。

委員

枯損木については周囲の安全確保と併せて早急に対応をお願いしたい。

(4) 令和7年度工事予定について（資料4）

- ・光都土木事務所から説明
- ・兵庫県庁公園緑地課から説明

委員

遊具の中で一番賑やかなのが難破船付近。この辺りにミストがあれば良い。

事務局

難破船の近くのわんぱく広場にはミストを設置しているのでそちらを利用してもらえれば良い。

委員

日よけ施設は今後も新設するのか。

事務局

アンケートによると夏場の暑さ対策をして欲しいという声がある。現在は海洋科学館近くに「水の流れ」を夏場の土日に利用できるようにしているが、今後は期間限定で仮設プールを設置することなども検討している。

委員

夏場の暑さ対策は一番気になるところ。より対応をお願いしたい。

会長

現在工事中の緑の展望帯は屋根があるのか。

事務局

パーゴラは設置する予定だが、雨をしのげるほどの屋根は設置されない。

委員

資料の写真には枯れ松があるが、対応しているのか。

事務局

写真は3年前のもので、すでに管理事務所で伐採した。

委員

資料の(案)のベンチは背もたれのない共有型であるが、家族連れで遊びに来てベンチを共有して使用することが難しいように感じる。背もたれがあるベンチをもっと日陰に設置して欲しい。ベンチ以上にミストを要所に設置してほしい。カフェ等素敵な施設が整備されても公園施設が追い付いていないように感じる。設備や遊具が充実していないとSNS等で辛口な事を書かれる可能性もある。

会長

どの公園も平等に設置しなければならないが、注力したい施設として予算を集中させる方法もある。民間はそうしている。

委員

松を伐採したところは植栽するのか。

事務局

移植などを考えている。

委員

イメージに合わせて松以外の樹木も良いのでは。

会長

松の木は防風林であったり海風に強かったりと安定安心な木でもある。

事務局

松は潮風を防ぐなどの効果がある。松以外の樹木も検討しているため、確定したら報告する。

4. その他

委員

資料2に打ち上げ花火の予定が書かれているが、赤穂砂丘で実施するのか。

事務局

公募提案するにあたって夜間の営業も検討する中で、夜間イベントの終わりにシークレットで打ち上げ花火ができればと考えていた。

委員

夜間に公園を開けるとなると不審者が入ることも考えられる。夜間の防犯と安全対策をして欲しい。

事務局

以前も夜間公園内に侵入し遊具を乗り回す、自動販売機を壊す、打ち上げ花火をしてヤシの木を燃やす、赤湖に釣り道具やエサを放置するなどあったが、最近はそのようなことはない。光都土木に防犯カメラなどを設置してもらい、指定管理者自らも対策を考えていこうと思っている。

会長

高槻にある安満遺跡公園はレストランを夜間に営業している。公園の中にあるため以前は暗くて怖いという印象があったが、現在は独自に導線に照明をつけるなど工夫されている。

5. 次回開催予定

令和8年 2月頃開催予定

令和7年6月2日（月）に開催された第11回赤穂海浜公園管理運営協議会議事録は、上記の通りであると認め署名する。

議事録署名人

会 長

赤穂 宗樹

委 員

角岡 一穂